

## 湊公民館視察訪問に参加して

### 「桜のトンネルライトアップ」事業について

湊ビジョン推進協議会は、自治会や地域団体の枠を超えて、住民の生活環境の向上と地区の活性化やまちづくりの推進を図ることを目的に結成され、事業は、居心地のいい場所を提案、桜のトンネルライトアップはその中の重要な一つです。

事業費はクラウドファンディングという方法を駆使し、区民が一丸となって集めた金額2,195,000円をもとに開催されています。

この事業は、どの段階からでも、どのタイミングにおいても気軽に参加し、それぞれの時間配分で参加できるライトアップ事業が地域活動の担い手を増やしていく唯一かつ最も効果的な方法だと、この研修会に参加しながら勉強させていただきました。

宝永公民館 運審委員長 増永 秀則

### 湊公民館を訪問して

最初に千秋公民館長より湊地区の概要と公民館事業をその後藤田運審委員長にクラウドファンディングに関する説明をうけました。

地区的課題として（自治会組織の脆弱化に伴う地域活動の低迷・公園施設の老朽化及び利用者の減少・郷土の誇りである歴史文化が未活用）を挙げられその解決策としてのみならず地区未来づくりビジョンが策定されています。

またその一環として越前湊さくら祭を開催し、そのさくら並木の維持保存とライトアップのための資金確保が最重要課題ということでクラウドファンディング事業と各団体・個人からの協賛金を利用されました。

特に今回の訪問ではクラウドファンディング事業の進め方をご説明いただき非常に参考になりました。

今後は自分たちの地区にもクラウドファンディング事業の採用を検討すべきであり、その為の組織づくりの必要性を感じた訪問でした。

最後にご多忙のなか今回の調査研究委員会にご協力いただきました湊公民館の方々に感謝申し上げます。

和田公民館 運審委員長 南出 吉彦

### 刺激を受けること

湊公民館運営審議委員長から、公民館活動の、もう一つの柱「湊ビジョン推進協議会」について熱く語っていただいた。地域課題と向き合っていく姿勢に創造性がある。協議会を組織されることで、大きな変化をもたらしたのだろう。

「越前湊さくら祭」は地域資源の活用と、さらにライトアップに行燈で参加など付加価値を仕込むことにたけておられる。クラウドファンディングも、実際資金獲得だけではなく、地域を盛り上げようとする人々の気持ちをさらに刺激する効果も感じられる。訪問させていただいた我々も大いに刺激を頂いた。

東郷公民館 運審委員長 佐々木 雅代

### 強い郷土愛

湊公民館を視察し感銘したことは、千秋館長と藤田運審委員長の湊地区を大切に思う強い郷土愛です。

その強い郷土愛を具体的な形に創り上げたのが「桜のトンネルライトアップ」ガバメント・クラウドファンディングです。

湊地区的地域特性を十分に生かしたクラウドファンディングの案は見事で、当初予定の寄付金が2倍以上の申し込みがあったことも立派だと思います。

立派な事業を成功させた理由は、館長・運審委員長を中心とした日頃からの誠実な行動力と、人の長所を生かす思いやりはもちろん、地域を生かした人を魅了する企画力だと思います。

この「桜トンネルライトアップ」を起爆材に湊地区的益々の発展を期待すると共に、私も今以上に地域の発展に寄与したいと思います。

清明公民館 運審委員長 山田 真一

### 調査研究委員会視察訪問

7月28日に湊公民館を視察訪問いたしました。初めに、湊地区的概要について説明を受け、次に湊ビジョン推進協議会、「照手・木町さくら並木」の保存、「桜のトンネルライトアップ」ガバメント・クラウドファンディング等について説明を受けた。旧市街地において、多くの歴史文化施設を有しており、将来の街づくり施策を策定し、実現に向け取り組んでいると感じました。

西藤島公民館 運審委員長 谷口 晴伸

### 各種団体との協力・連携

地区の夢を叶える未来づくり創造ファンド事業寄付型クラウドファンディングを活用して、各事業主体、自治会、各種団体と協力して、桜のトンネルライトアップ、行灯で桜並木を照らし出し、夜桜を、若者から高齢者まで幅広い年代層の方が楽しんだ。

住んでいる自分の地区が今まで以上に喜び、特に先輩が植林した桜並木を、行政・地域住民が協力し管理して、今まで以上に美しい地域の名勝として今後も続いてほしい。

国見公民館 運審委員長 水上 日出美



# 令和4年度福井市公民館運営審議会連絡会 調査研究委員会報告書

### <調査研究委員会>

平成11年より、よりよい公民館活動を支援するための研究課題として、公民館関係者と利用者の意識を把握することを目的に、公民館視察訪問を実施。

訪問先:湊公民館

学園1丁目4-8 TEL:22-0032

訪問日:令和4年7月28日(金)

参加者:11名

湊地区の概要 (世帯数)4,269世帯

(人口)8,592人

2022.7.1現在



### <視察訪問当日の流れ>

- ・運審連 酒井憲俊会長あいさつ
- ・生涯学習課 渡邊裕貴主事あいさつ
- ・湊公民館 千秋英幸館長あいさつ

湊地区の概要について



酒井会長あいさつ



千秋館長



配布資料

- ・「桜のトンネルライトアップ」ガバメント・クラウドファンディング  
～湊地区の課題解決に向けて～ 藤田和也運審委員長

### ・質疑応答・意見交換

- ・調査研究委員会 小林彰委員長より謝辞

- ・集合写真撮影

- ・館内見学



藤田委員長